

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ大和八木			
○保護者評価実施期間	2025年1月4日		～	2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	8名
○従業者評価実施期間	2025年1月4日		～	2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月18日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種が情報共有を行いながら特性に応じた療育の提供をしています。	・子どもたちの興味がある動物や季節の行事など家庭では経験できないような事を取り入れる工夫や小学生のお兄ちゃんお姉ちゃんとの交流などの取り組みを行っています。	・親子イベント(野外)などで自然に触れあう活動や協力して作り上げる活動などの経験を提供できるように考えています。
2	・環境にあった遊びや遊具の提供をしています。	・ある物を使って工夫しながら遊んだり、小学校に進学する為に机上課題(姿勢、眼球運動、板書)など実施。また必要な道具の提供も行っています。	・2～3ヶ月毎に1回、親子での活動ができる療育を開催しています。親子でのふれあいを提供しながら利用児の成長を感じてもらえる機会を作ります。
3	・保護者様の学び、意見交換の場の提供をしています。	・ペアトレーニングの開催を行いながら、保護者様同士お話をしやすいイベントや参観など行っています。	・保護者様の協力の元、子どもたちが1つになって活動ができるような取り組みを考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・小学校入学までの支援のみの提供しかできていません。	・就学・就労準備特化型の事業所運営のため、小学校入学までの支援となっています。	・系列事業所への促し等実施しています。
2	・大型遊具が無い為、揺れや登るといった活動に限りがあります。	・事業所、(ビル)の構造上利用できるものが限られています。	・大型遊具が無い分、あるものを上手く使って遊びを提供しています。
3	・施設がビル1階にある為、入口を出れば階段や大きな道路が目の前にあり、危険な状況になっています。	・階段や道路、また、保護者様のお迎え場所になっています。	・施設の構造上変えることはできませんが、別の入り口へお迎え場所を変更すると共に、足形や止まれのマークをつけ子どもが危険を意識できるようにしていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 リハビリ発達支援ルームU Tキッズ大和八木

公表日 2025年 3月 17日

利用児童数 10人

回収数 8人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7				1	情報が視覚的に入りやすいようにホワイトボードやマークの活用を行っています。入口やフロアはバリアフリーになっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	8					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6		1		1	保護者のニーズや子どもの困り感にも着目し、ガイドラインにある「本人支援」「家族支援」「移行支援」から必要な支援を選んでいきます。計画書にはどのように支援していくのか具体的に記載しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6				2	子どもたちの好きなことや遊びを用いて、子どもたちが能動的に活動できるように支援しています。療育内容が固定化しないように職員間で話し合い、活動プログラムの見直しも定期的を実施しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6		1		1	事業所内のプログラムでは、他園の子どもたちとの交流はありますが、保育所・幼稚園・地域との交流の機会は現在、行っておりません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5				3	就学前の相談会や保護者様参加のイベント、ペアレントトレーニングを実施しています。きょうだい参加を希望しているイベントもあります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7			1		支援時間やご利用日以外にも相談する時間を設けさせていただいています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7			1		活動概要はInstagramを通じて行っています。予定等の連絡事項は文書で一人ひとりに伝達しています。自己評価の結果はホームページで公開しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			1		事業所では、感染マニュアル、防災マニュアル、重要事項説明書をいつでも閲覧していただけるようにしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1		2		年3回の避難訓練（地震・火災・防犯）を実施し、報告書を掲示しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	3				個々の発達段階に合わせた課題、友達と協力して取り組む課題などを取り入れ支援を行っています。その中でたくさん「できた」を実感することで自信を持って様々な事にチャレンジしていくことができるよう支援を行います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8					

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		リハビリ発達支援ルームUTキッズ大和八木		公表日		2025年 3月 17日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		4	・上階の音が聞こえてくるときもありますが、遊びに集中できるように声掛けを工夫しています。 ・収納スペースが少ないですが、環境設定を整え整理整頓に努めています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・支援の中でフォローが必要な時は、職員が互いにフォローできるようにしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・収納棚には、子どもが出し入れしやすいように収納場所に写真を貼るなどの工夫をしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		4	・毎日の清掃と必要に応じて換気をしています。 ・子どもの活動に合わせて室内環境を変更しています。	・天候により室内が暗く感じるときがあるのでカーテンを開けるなどの改善をしていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・その日の気分や体調により、個室利用をしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・職員からの要望を取り入れ対応しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・保護者からのご意見を基に職員で話し合う場を作り、業務改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・職員全員参加でミーティングをする時間を毎日作り、意見交換しています。必要に応じて業務改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		・第三者による外部評価は実施しておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・職員のスキルアップのため、学びたい研修を受講することができています。		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	3	・HPで支援プログラムについて公表しています。	・会社の情報や動きを職員が共有できるようにシステムを構築し改善していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2	2	・子どもの困り感や保護者のニーズを取り入れ症例検討会で課題分析をしています。	・職員全員が評価検証できるように、症例検討や研修を通して、評価方法を学ぶことができる機会を作っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・症例検討を通して、職員が支援に対して意見を言い合える機会を作っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	・朝礼で支援について話をする時間をとっています。計画書の目標に沿った支援内容を心掛けています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	・職員全員参加の症例検討会を定期的実施しています。	・職員全員が評価検証できるように、症例検討や研修を通して、評価方法を学ぶことができる機会を作っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・ガイドラインに沿った計画書書式を使い、子ども一人ひとりに必要な支援を計画しています。 ・保護者ニーズや子どもの困り感に対して必要な支援を計画書に設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・ミーティングの時間を作り、意見交換しながらプログラムを立案しています。		

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・朝礼で目的と支援内容の確認を行っています。 ・子どもの様子や成長発達に合わせた遊びの展開について研修を実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		・集団の中での困り感など職員間で話をする機会を作っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・朝礼で支援内容と役割分担の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・支援終了後には振り返りを行い、必要に応じて課題の整理をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	2	・日々記録の入力は翌日中に記入するようにしています。 ・記録を入力する時間を作るようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・計画書の更新遅れがないように、管理しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・児童発達支援管理責任者、担当者が参加し、翌日には職員共有しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	・園・学校などの関係機関、行政とも連携し情報共有に努めています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・保護者からの要望があれば支援内容や子どもの様子を共有しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・保護者、園や小学校から依頼があれば、情報共有しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4		今後検討し、必要であれば取り入れていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		・現在実施しておりません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・支援終了後にはフィードバックを行っています。また、必要に応じて保護者と共有する時間を作っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		・ペアレントトレーニングを定期的に開催し、保護者同士の意見交換ができる場を作っています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時に保護者説明をしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・保護者のニーズや子どもの困り感などを確認する機会を作っています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		・計画書に保護者サインを頂く際は、目標と支援内容の説明をしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・支援終了後のフィードバック時に相談を受けています。必要があれば別日で保護者支援を行っています。また、保護者より相談希望があれば早急に対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		・就学前相談会を実施し、先輩ママからの経験談を聞く機会を作りました。	・きょうだい同志での交流する機会も、必要であれば今後検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		保護者より相談希望があれば、担当者が早急に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		・事業所の活動内容はInstagramで発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・実績記録票などの個人情報の取り扱いは事業所ルールを作って取り組んでいます。 ・契約書類は鍵付きの書庫で管理しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。			・書面での情報共有をしています。 ・支援ではホワイトボードやカードを利用し視覚サポートをしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		・現在は、実施しておりません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・重要事項説明書、感染マニュアル、防災・防犯マニュアルをファイルにして支援室に設置し、いつでも閲覧できるようにしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・BCPを策定しています。火災・地震・不審者侵入の避難訓練を年3回実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・契約時に保護者より情報提供いただいています。情報提供あった場合は職員と共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・イベント等で飲食する際は、アレルギーに関する情報を職員で再確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	2	・年3回の避難訓練と感染対策、身体拘束・虐待防止の研修を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		・契約時に事業所内の安全面について説明をしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・ヒヤリハットは職員間で共有し、再発防止のための対応策を職員全員で検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・虐待防止研修を年1回実施しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		4	・身体拘束についての研修を実施し、どの世どのような場合に身体拘束を行うのか把握できるようにしています。 ・朝礼時に支援中身体拘束がなかったか確認しています。	・どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、契約時に保護者へ説明できるよう改善していきます。	